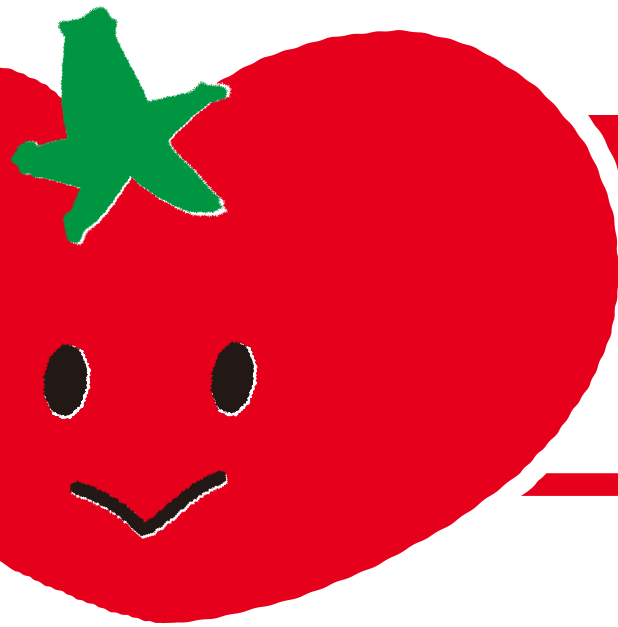




笑顔がつくる、はつらつ島根。

# とまちゃん通信

角ともこ県議会レポート

2025.4 April vol.70

## 二月定例議会

### 魅力あふれる島根をつくる

#### 第二期島根創生計画策定

2月定例議会では、新年度から第2期となる島根創生計画の策定やそれに伴う新年度予算案など知事提出議案79件、放課後児童クラブの充実を求める意見書など議員提出議案6件の議案の審議が行われ、すべての議案が全会一致または賛成多数により可決しました。

今議会では、角智子は会派を代表して質問しました。第2期島根創生計画に盛り込まれる施策により、ここで暮らし続けたいと思える魅力ある島根がつくられていくことを求めて質問しました。その内容の概要について報告します。

#### 島根創生計画を進める決意

第2期の計画を作成され、どのような島根づくりを目指して今後取り組むのか。

知事 県民一人一人にこの

島根で仕事や子育てをしようという人生の選択をしていた

だくこと、これが島根創生

を実現していく上で大変大事

な課題であると考えている。ふる

さと教育や地域、県内大学、

地元企業などと連携した探求

的な学びといった地域資源

を活用した特色ある教育

などを通じて、島根を愛する

人づくりを引き続き進めて

いく。キープレース「誰もが、

誰かの「たからもの」を活用

して、人とのつながりや人の

ぬくもり、懸命に努力する人

を応援する島根らしさを

発信するほか、島根の暮らし

のよい面、また大都市の厳しい

面を客観的に分かりやすく

伝え、県内企業の情報発信や

県内就職の支援などを行う。

大企業と中小企業との間の

不公平、不公正な取引環境の

是正や物価上昇の要因となっ

ている過度な円安是正、実質

賃金の改善、税制の見直し、

東京一極集中の是正といった

対策を政府に対して強く

求めていく。

ジェンダー平等社会の実現

あらゆる分野でジェンダー

平等の社会を実現していく

ための県民の意識の醸成に

どのように取り組むのか。

知事 性別に起因する偏見や

格差は生活や意識などに深く

内在しており、解消は容易な

ことではない。県では島根県

男女共同参画サポーターを

委嘱し、市町村やしまね女性

センターと連携し、講演会や

学習会の開催、寸劇の上演等

を通じて、身近なテーマで地域

の実情に応じた男女共同参

画の意識啓発などの活動を行

っている。

引き続き、市町村やしまね

女性センター、男女共同参画

サポーターの方々と連携し、

地域における固定的な性別

役割分担意識等の解消に向

けた啓発、大学生など若者を

対象とした男女共同参画に

ついての理解促進、行政や

地域、職場等での政策、方針

決定過程における女性の

男性の家事、育児、介護の

分担促進など、ジェンダー

平等に向けた取組を粘り

強く進めていく。

保育所の経営情報の見える化

来年度から実施される「保育

所等の継続的な経営情報の

見える化」について聞く。

健康福祉部長 この制度は、

保育所などに対し、保育士

などの給与の状況を含む経営

情報を県に報告するよう求め、

県はこの情報を基に保育士

などのモデル給与や総収入

に占める人件費比率などにつ

いて保育所など施設ごとに

公表するもの。

国は、この制度により保育

所などの給与の状況を含む

経営情報を検証し、保育士

などのさらなる処遇改善を

進めることを目指している。

地域包括支援システムの構築

介護が必要な高齢者が、地域

の皆さんとともに住み慣れた

地で安心して暮らしていける

環境づくりにどのように取り

組まれるのか。

知事 地域づくりの視点を

持ちながら、市町村が地域



具体的に進むように、県では  
助言や情報収集を行い、伴走  
型の支援を各制度に基づ  
いて実施していく。

地域の公共交通の確保

県民が安心して地域で暮

らし続けていけるよう公共

交通をどのように確保して

いくのか。

知事 市町村に対して、県も

参加している地域公共交通

会議の場などを通じて、デマ

ンド型交通の運行やタクシー

の利用助成など、地域実情

に応じた交通体系の転換など

についてアドバイスをを行い、

その導入や運行に対して支援

をしている。

来年度からは、県内各地で

顕在化しているバスの運転

手不足への対応として、その

労働環境や福利厚生などの

改善を支援するための予算

を大幅に拡充している。運転

手の休憩室や更衣室などの

整備費の助成や新規採用の

バス運転手を対象に家賃の

一部の支援、また大型バスの

運転に必要な専門技術の習

得に必要な経費の助成

など、県内外から運転手の

確保を目的とした新たな

取り組みを進める。

のびのびと子どもが育つ

魅力ある学校教育

子どもたちにとって魅力

ある学校教育に、どのような

方針で取り組むのか。

教育長 島根の学力育成プロ

ジェクトなど、小学校段階の

できるだけ早い時期から取り

組み、各教科の各単元の導入

部分で活用することなどに

より授業改善を図り、子ども

たちが楽しいと思える授業

ができるよう、来年度も取り

組んでいく。

#### 地方創生・行財政改革調査特別委員会

##### 第2期地方創生計画案了承

令和6年度で終期を迎える  
地方創生計画の第2期計画  
策定に向けて特別委員会でも  
議論を重ねてきました。

今後も人口減少が続く中、  
地域での暮らしをどうして  
いくのか、将来の島根の姿を見  
据えながら取り組みを進めて  
いくことや、市町村と連携して  
取り組むことの必要性など、  
様々な観点から多くの意見が  
出されました。それらをもと  
に、人口減少に歯止めをかける

ため、自然減と社会減の改善を

目指して、県が実施する対策に

全力で取り組むこと、そして、

東京一極集中の是正など日本

社会、日本経済

全体の課題につ

いては、国に対策

を求めていくこ

となども盛り込

んだ計画案とな

りました。特別委

員会では多数決

で了承し、本会議

でも委員長報告



発行者 角 智子 〒690-0063島根県松江市寺町67-23  
TEL.(0852)28-8880 FAX.(0852)28-8881  
E-mail sumi@tomachan.net  
U R L http://www.tomachan.net/

## とまちゃん通信

### 会派県外調査

会派民主県民クラブでは1月27～29日に3つの地域で県外調査を行いました。



### あんしんカンパニー

兵庫県豊岡市では、ジェンダーギャップの解消の取り組みと地域交通対策の取り組みについて調査しました。

地方の人口減少は若い人たち特に女性の人口流出が大きく影響していることは様々な調査で明らかになっています。若い人たちにとって地元が魅力のないまちになっている一つにジェンダーギャップ、男女の格差があります。女だから、男だからという無意識に作られている意識の解消に向けて、豊岡市では様々な集まりを活用して市民の意識啓発に取り組まれています。

また、女性も働きやすく、働きがいを感じる事業所を増やすことを通じ、職場のジェンダーギャップの解消と、これを切り口としたまち全体のジェンダーギャップの解消を目指し、この取り組みを実施している事業所を「あんしんカンパニー」として表彰しています。

**2000円レール2000円バス**  
京都府京丹後市では、公共交通の利用促進と公共交通空白地における移動手段確保の取り組みなどについて調査しました。公共交通利用促進事業としては高齢者片道200円

レール事業として、域内各駅から京丹後鉄道に乗りどこで降りても2000円で利用できるようにしています。

ます。これによって高齢者の外出を促進しています。また、上限2000円バス事業により市民誰でも2000円でバスが利用できるようにして、バスの利用促進を図っています。

### 豊岡市ジェンダーギャップ解消戦略のリーフレット

ささえ合い交通事業としてNPO法人が運行事業者として行っている公共交通空白地有償運送ではICTを活用して予約や支払いができる運行を実施し、スマートフォンの利用ができない人には電話での対応もしています。様々な手段を活用し、公共交通の利用促進と公共交通空白地対策に取り組まれています。

### 手厚い子育て支援

岡山県奈義町では子育て支援の取り組みについて調査しました。奈義町では全国

各地で行われている子育て支援を参考に支援策の充実に取り組まれ、合計特殊出生率2.88と高い水準を達成しています。

保育園の空き施設を活用した「なぎチャイルドホーム」では子育て相談や情報交換の場や自主保育、一時預かりなどを実施するとともに、在宅育児支援手当を支給し、在宅で育児をしている人たちへの支援をしています。また、中学3年生までの子どもを養育しているひとり親家庭に「やすらぎ福祉年金」を支給するなど手厚い子育て支援を実施しています。



豊岡市の担当者との意見交換



奥正親奈義町長

### 原発特重施設設置を了解

島根原子力発電所2号機の特定重大事故等対処施設等の設置に関わる事前了解について、防災地域建設委員会の委員長報告がありました。

2号機はすでに稼働しており、引き続き安全に運転していくことが重要。そのうえで、再稼働判断時に要請した事項の実施、安全確保に向けた取り組みなどを推進することを条件に特重施設等の設置について委員会では事前了解され、本会議においても委員長報告を可決しました。

### 「おつたび」で雇用創出

連合島根と島根県立大学では、2021年度から島根県における雇用創出及び県内企業の雇用・定着促進に関する委託研究が行われ、今年度が最終年となるにあたり、研究成果についての報告会が2月12日にありました。

3つのグループがそれぞれの研究発表をされたのですが、その中で興味深かったのは、「おつたび」による雇用創出と関係人口の報告です。「おつたび」というのは、お手伝いを通じて地域に

入り込み、何か素敵な発見や経験をして、気づいたら自分にとっての特別な地域になって戻ってくることを目的にしたアプリを使って、人材を求めている地域と参加したい人を結ぶものです。

このアプリを活用して島根の魅力発信し、雇用創出や関係人口づくりを進めようという提案でした。人口減少に苦慮する島根にとって取り組んでみるべき提言でした。このほかにもサバイバル教育を活用して島根への関心を深めることや、夏場のスキー



### 平和について考える

3月2日、後援会総会のイベントとして、昨年ノーベル平和賞を受賞した日本被団協の代表理事で、受賞式に出席された本間恵美子さんに講演していただきました。本間さんは被爆二世で島根県原爆被害者協議会の会長でもあります。



講演する本間恵美子さん

講演の中で、被団協は事前にノーベル平和賞受賞について聞いていたのではないかと問われるが、全く発表まで知らされていなかった。ここ数年、被団協では平和賞受賞を期待して発表時には会見することにしていて、当日も例年のごとく会見を開いていた中での受賞の発表だったそうです。

受賞式の様子やノルウェー滞在中のオスロ大学での講演などについて報告されるとともに、被爆者の活動や原子爆弾のことなどについても話され、核兵器の廃絶など平和について考える貴重な時間となりました。

また、3月5日に県議会全議員を対象に、同様な内容で会派主催の研修会を開きました。

### 女性の声が政治を変える

### ジェンダー・ギャップの解消を

3月8日は「国際女性デー」です。立憲民主党島根県連では今年も松江駅前で、大塚聡子2区総支部長、白石恵子県議会議員、角智子の3人で、女性の声が政治を変えると訴え、街宣活動をしました。

見過ごされてきた様々な課題の解決につながっていきます。そして、一部のお金のある人たちの声で政治が動かされることなく、中小企業がほとんどの地方にあって、私たちの声が届く政治の実現に向けて取り組んでいきます。

昨年の日本のジェン

ダー・ギャップ指数は世界146カ国中118位と下位に留まっています。これは政治、経済分野への女性の参画が少ないことが大きな原因です。まずは、女性の議員を増やしていくこと、そのことによって多様な意見が反映され、身近な生活の課題、介護や育児をはじめ、これまで



左から白石議員、大塚支部長、角